

Well-beingワークショップ 実施結果について

2025年3月18日

ワークショップ実施概要

目的

- Well-being指標を市民・職員・関係者と共有するワークショップを実施し、意見を幅広く収集するとともに地域のWell-beingを市民目線で評価する
- 市民・関係者と地域の現状や課題を共有し、今後のありたい姿を考えることで、まちづくりへの積極的な参画へのきっかけとする
- 市民の意見やアイデアを収集し、総合計画の見直しに反映する

分野	テーマ・目的	開催日時・場所	参加者
健康	【テーマ】「健康」に暮らせるまちとは 市民の意識や課題、新たなアイデアを収集し、今後の政策に反映する	1月18日（土） 9:30～12:00 備前市役所	23名： ・市民 8名（30歳代～60歳代、会社員、主婦他） ・職員 7名 ・事業者 3名 ・進行役 5名
防災	【テーマ】わがまちの「防災」を考える 市民の意識や課題、新たなアイデアを収集し、今後の政策に反映する	1月18日（土） 14:00～16:30 備前市役所	25名：4グループでワークショップ ・市民 11名（30歳代～60歳代、会社員、農業者他） ・職員 6名 ・事業者 3名 ・進行役 5名
若者女性	【テーマ】「若者・女性」が活躍できるまちとは 「若者・女性」の目線で備前市の課題や要望・今後の期待を収集し、今後の政策に反映する	1月25日（土） 14:00～16:30 備前市役所	22名：4グループでワークショップ ・市民 11名（10歳代～60歳代、会社員、高校生 7名他） ・職員 4名 ・事業者 4名 ・進行役 3名

ワークショップ プログラム

ワークショップ プログラム (全体 : 150分)

1. オープニング : ワークショップの目的とプログラム説明 (5分)
2. 備前市の取組みについて紹介 (5分) : 備前市
3. アイスブレイク : 自己紹介 (5分)
4. Part 1 : 現在の備前市の姿を見つめなおす (40分)
 - ① Well-being調査結果の説明 (客観指標・主観指標アンケート)
 - ② 現状の整理 (良い点・課題・具体的な事例)
 - ③ 発表
5. 休憩 (10分)
6. Part 2 : 10年後の備前市のありたい姿を考える (80分)
 - ① 10年後の備前市を表現する (〇〇〇〇〇なまち)
 - ② 具体的なライフシーンを想定する
 - ③ 実現に向けた具体的なアイデアを考える
 - ④ 発表
7. エンディング : 全体まとめ (5分)

The Future of Our Town ワークショップ
10年後の備前市を考える ～住み続けたい魅力あるまち備前市～



BIZEN BIZEN CITY

住み続けたい魅力あるまち「備前市」であり続けるために、10年後の備前市を考えるワークショップを開催します。今回は、以下の3つのテーマを市民の皆さまと考えていきます。ご参加をお待ちしております。

【開催テーマ/日時】

①「健康」に暮らせるまちとは	2025年1月18日 (土) 9:30～12:00
②「わがまちの防災」を考える	2025年1月18日 (土) 14:00～16:30
③「若者・女性」が活躍できるまちとは	2025年1月25日 (土) 14:00～16:30

※ ①② : どなたでもご参加ください ③ : 学生の皆さん大歓迎です

Part 1 : 現在の備前市の姿を見つめなおす
- Well-beingアンケート 経産部
- 現在の備前市 (良い点・課題)

Part 2 : 10年後の備前市のありたい姿を考える
- 10年後の備前市をイメージ
- 実現に向けたアイデアを考える

【場所】 備前市役所本庁 3階大会議室

【参加者募集】 参加をご希望される方は、QRコードから事前に参加申込をお願いします。各回の応募締切日は次のとおりで、それぞれ25名の定員に達した場合は、募集を締め切らせていただきます。

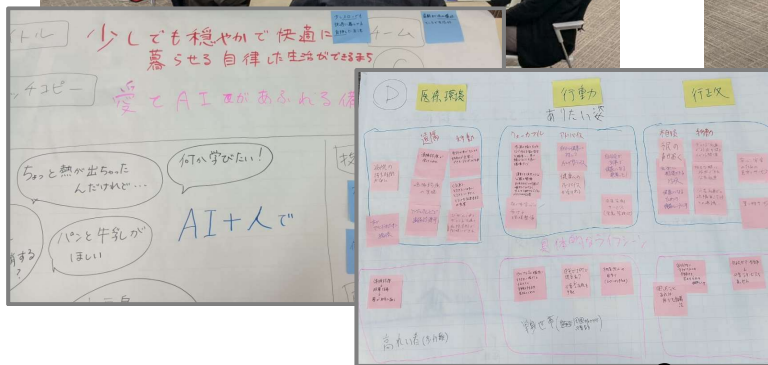
＜応募締切日＞ ①② : 1月10日 (金) ③ : 1月17日 (金)



備前市 Bizen City Official

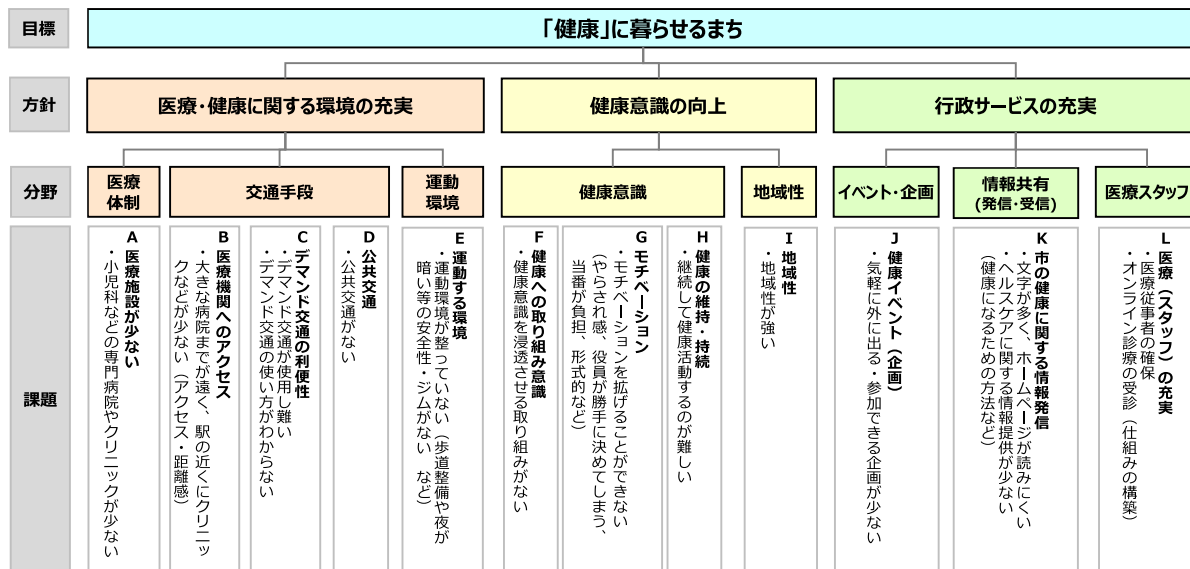
2

ワークショップ 1 : 健康・医療分野_ワークショップの様子



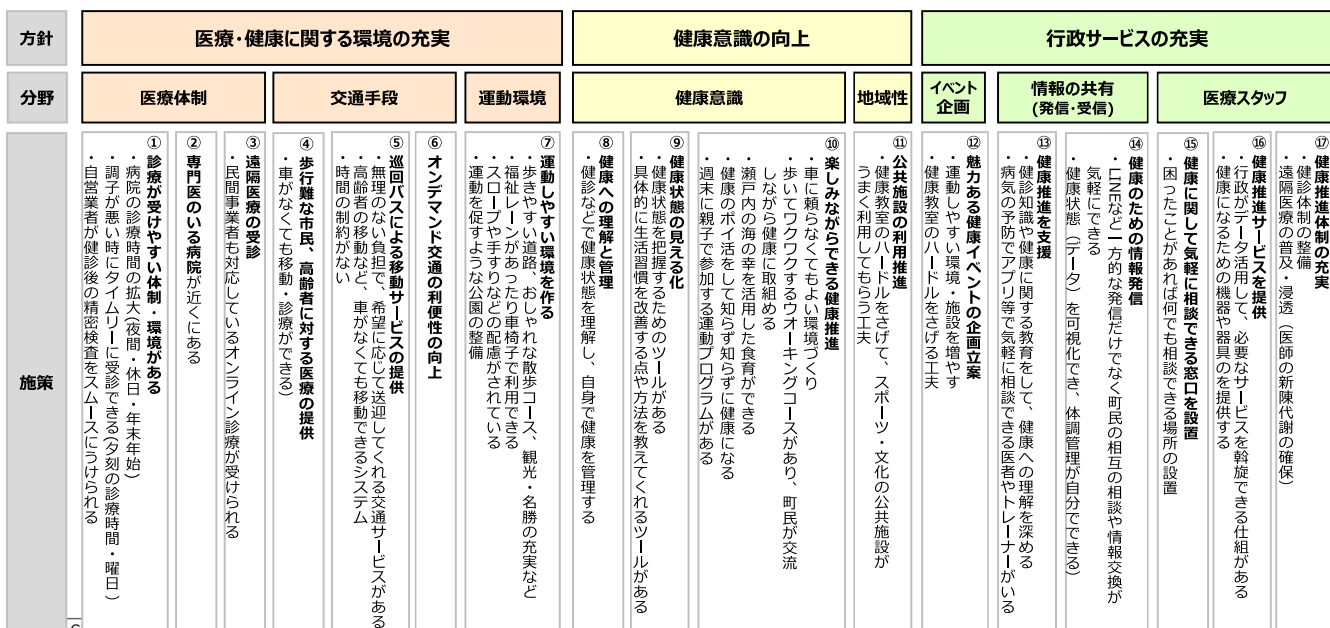
3

ワークショップ 1：健康・医療分野_目標課題体系図



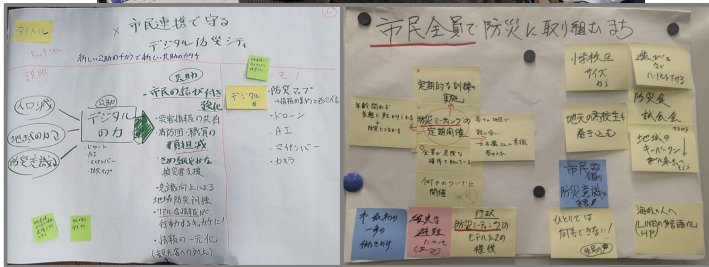
4

ワークショップ 1：健康・医療分野_目標施策体系図



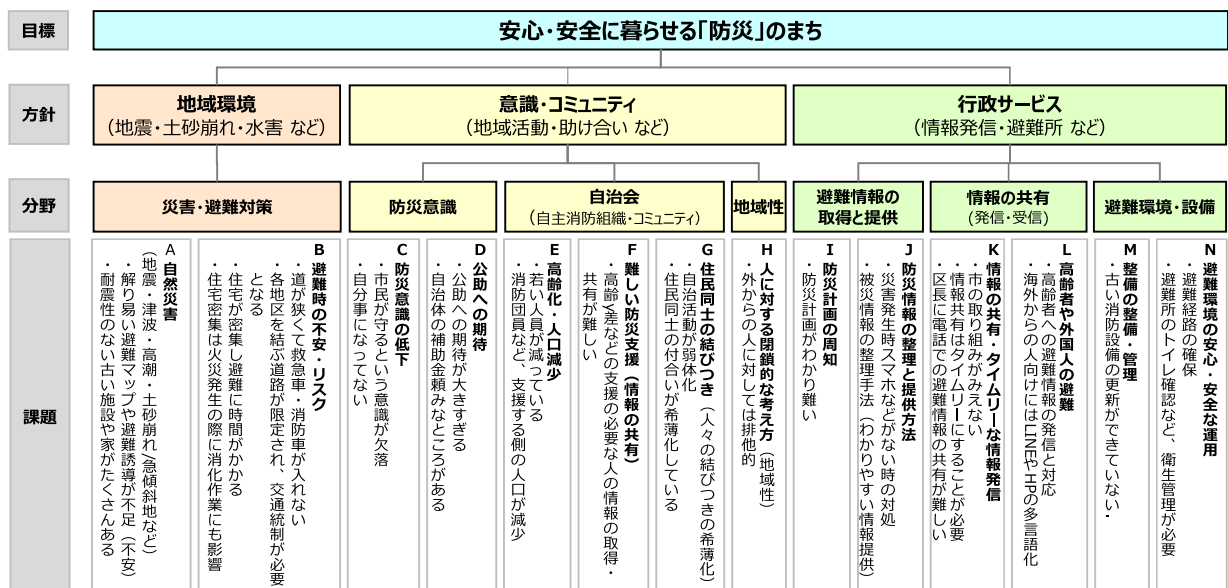
5

ワークショップ 2 : 防災分野_ワークショップの様子



6

ワークショップ 2 : 防災分野_目標課題体系図



7

ワークショップ 2 : 防災分野_目標施策体系図 (1)

方針	地域環境 (地震・土砂崩れ・水害 など)	意識・コミュニティ (地域活動・助け合い など)					
	災害・避難対策	防災意識	自治会 (自主消防組織・コミュニティ)			地域性	
分野							
施策							

8

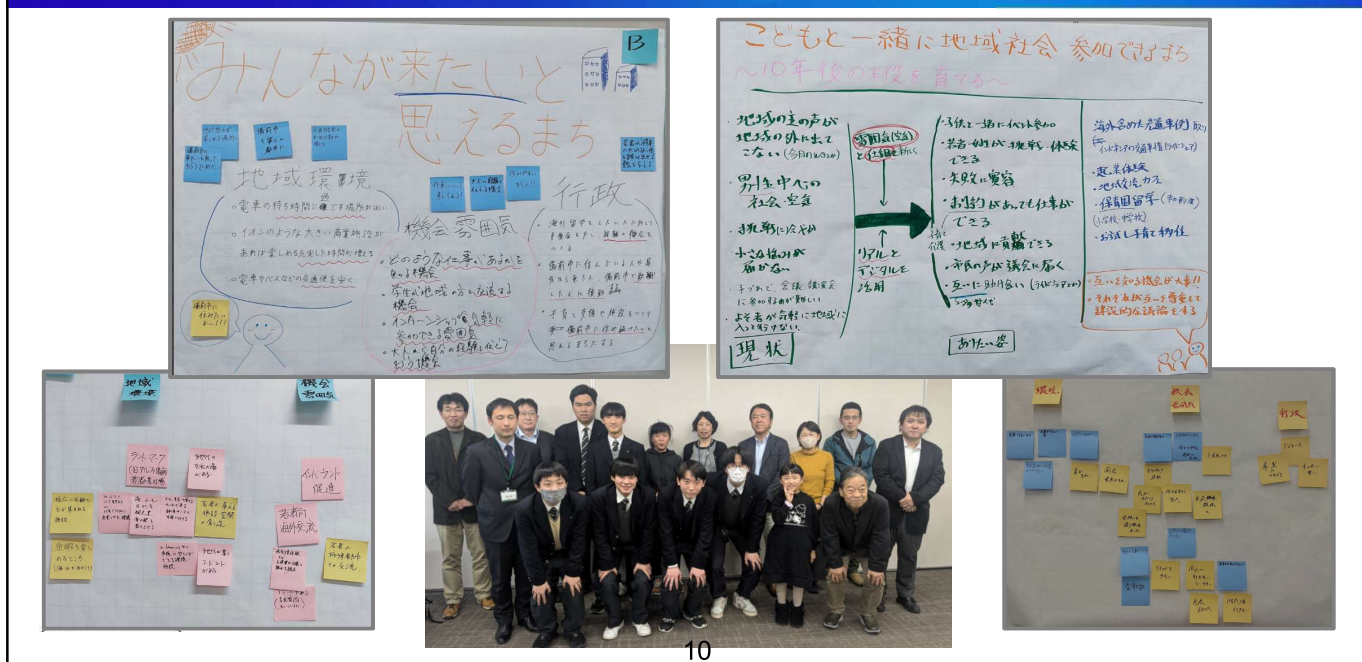
ワークショップ 2 : 防災分野_目標施策体系図 (2)

方針	行政サービス (情報発信・避難所 など)				
分野	避難情報の 取得と提供	情報の共有 (発信・受信)	避難環境・設備		
施策	⑩ 自治体との連携強化 ・他自治体との連携強化し、共同で防災対策にあたる ・関係機関、行政、住民の情報と活動を一元的にまとめる、指示を出せる体制をつくる ・非常時における行政の権限強化と計画的なプロ（専門家）を育成する	⑪ 防災情報の送受信強化 ・災害情報が市民にプッシュで届く、市民が発信・収納できる情報システムを構築する ・デジタル情報弱者へも適確に情報が伝達される仕組みの構築・運用を行う	⑫ 防災情報の共有（発信・受信） ・避難情報や避難所の状況を共有する（情報の一元化） ・サービスなど高齢者にも災害時の対策や避難所の情報を共有できる ・防災アプリを利用して情報を共有する ・消防団アプリの情報を備前市のアプリでも見れる仕組み ・災害情報や道路状況をリアルタイムで住民が見れる ・防災アプリを防犯などで普段から使う ・エリアメールなどを用いて、細かく地区ごとに情報の送受信をする	⑬ デジタル技術の活用（支援業務・情報） ・ドローンによる異常の早期検知により、消防団へ情報の送信による情報の共有 ・ケアが必要な市民情報を収集して、収納、活用する被災者支援 ・を活用した災害時の行政業務を省力化	⑭ デジタル技術の活用（ハード・アプリ活用） ・ドローンを活用した災害状況の把握と取りまとめ ・インフラ整備として、池水位監視装置による水位管理等
	⑮ 避難所の環境 ・避難所の環境向上（居住・衛生など） ・自宅の留まることなく安心していける ・外国人・女性に対応（配慮）	⑯ 市の予算確保 ・災害の備え予算確保・アップ ・国の財源の確保（国が直接支給する） ・（消防）団員の報酬アップ			

9

9

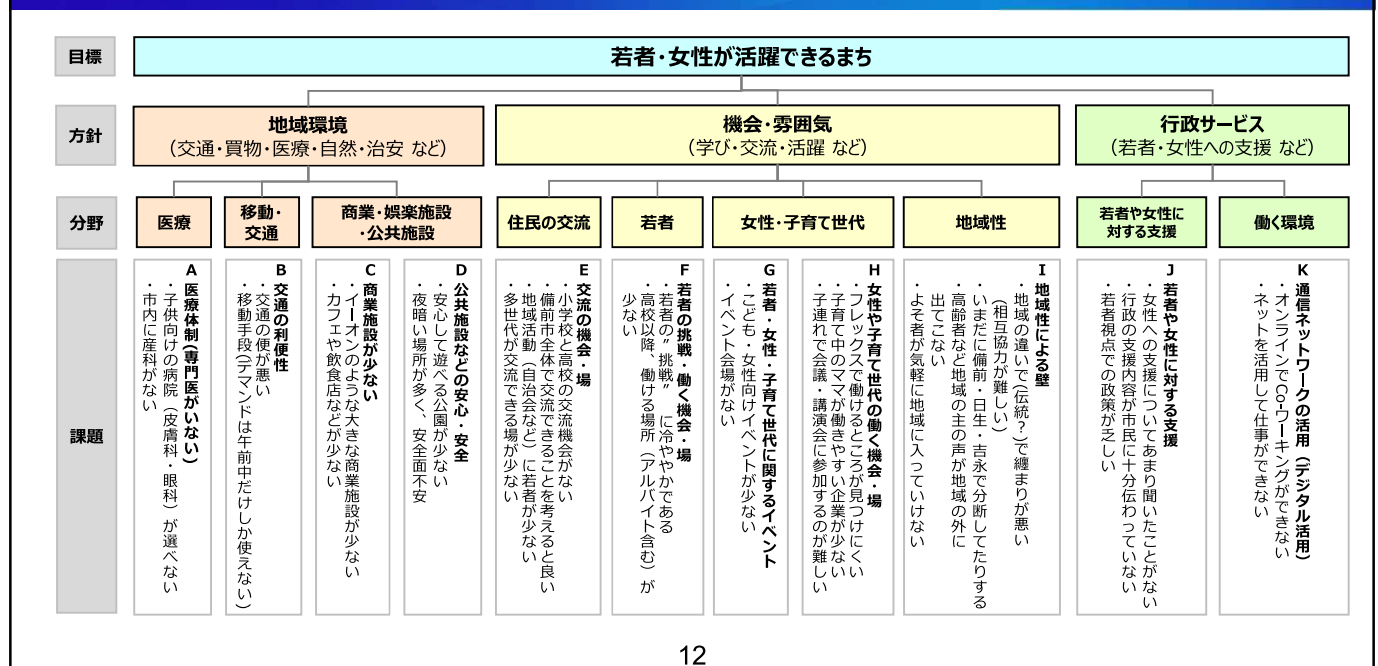
ワークショップ 3 : 若者・女性分野_ワークショップの様子



10

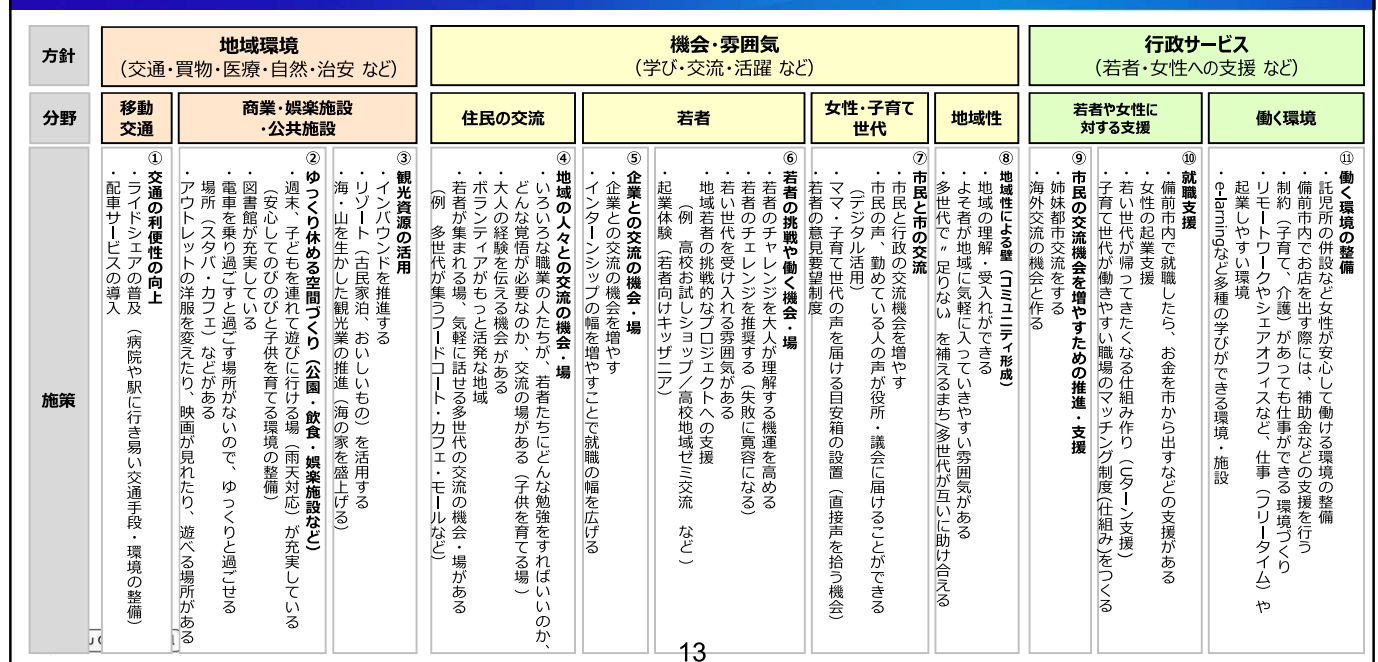
空白

ワークショップ 3 : 若者・女性分野_目標課題体系図



12

ワークショップ 3 : 若者・女性分野_目標施策体系図



13